

局長だより 5月

◇常任委員長だより 図書 啓展

学級開き講座など参加頂いた皆さんありがとうございました。新学期がスタートして早や一か月余り。家庭訪問や懇談会などで親御さんと直接お話しする機会は貴重です。力を合わせて子どもを伸ばす第一歩です。最近希望制にする学校も出てきて心配しています。勤務校では、計算力を全校あげて伸ばそう、と実態調査をして、「計算チャレンジ月間」の取り組みをしています。計算力を伸ばすには、つまずきを把握して、全体指導と個別指導をうまくかみ合わせる事が大切です。くり下がりのある引き算がクリアできているかどうかは大きなポイントです。

学力研「先生のための学校」は久保校長を先頭に名古屋分校も開校、また岡本先生プロデュースの「若い先生のための学校」も開校し、ますます活性化しています。学力実践を学ぶ場がさらに全国にひろがってほしいですね。

◇組織局だより 岡本 美穂

●名古屋版

◇「先生のための学校」始動!

四年間担任をした子ども達が卒業していきました。その一人の女の子の手紙に「思い出すのは、つらかったことではなく、嬉しかったこと、楽しかったことばかりです。」とありました。「学ぶことが楽しい、学校って面白い。そんな子どもたちの姿を追い求めて今後も頑張ろう。」この子どもたちの別れから改めて決意しています。

学力研で学び始めて12年目。これまで毎年「先生のための学校」には参加してきました。「同じ講座になぜ何回も参加するの?」と思われるかもしれませんが、受け手である自分自身の課題意識は、常に変化しているのです。どの話も新たな発見がありました。そして今回は名古屋で初めて始まります。たくさんの方に「学ぶ楽しさ」を感じて頂きたいです。

◇千人プロジェクトだより 岡 篤

●六月危機克服セミナー・続

六月危機克服セミナーの講師をお願いしている俵原先生は、私が神戸落ち研(現おもちゃばこ)の事務局をしているときに、会員になっていただいたいました。したがって、学力実践についてのご理解もある方です。

講演テーマは、「はじめ気分は笑顔で吹き飛ばせ!学級の崩れを防ぐ笑顔の教育」

底上げの学力実践に笑顔の視点が加われば、これほど強いものはありません。

岸本裕史先生の言葉にも「快的な情動」という言葉があります。(あえて「的」を使っています)

あまり目につかないかもしれませんが、せんが、実は、学力実践にも「笑顔」の視点はあったわけです。

「笑顔」に焦点をあてた今回の六月セミナーは、きつとあなたの実践を変えるきっかけとなります。どうぞ、ご予定ください。

◇学力研最新情報 岸本 ひとみ

●夏の全国フォーラムは

8月4日(土) 5日(日)

この学力研の広場5月号とともに、夏の全国フォーラムのチラシをお届けしました。今年の記念講演者は、森川正樹さんです。「教師のすごい! 書く指導」でできる先生が実はやっている 働き方を変える77の習慣」などの著書をお持ちです。それから、「TEACHER, S LOG NOTE」シリーズの監修者でもあります。今回は「教師の働き方革命」授業力向上のための10箇条」と題して、講演をしていただきます。もちろん、1日目午後14講座、2日目の学年別講座&分科会は、充実のラインナップです。事前申込&入金は参加費5000円ですが、当日参加の場合は、6000円になってしまいます。8月4日(土) 5日(日)の2日間は、どっぷりと学力実践に浸って下さい。今から、夏休み前半の予定に入れて下さいますようお願いいたします。